



2023年3月期 決算説明資料

2023年5月16日

ソースネクスト株式会社

1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 業績予想

4. 補足資料

総括

- PCソフト市場の下落があったものの、ハードウェア製品の販売が好調に推移した影響で売上は前期と同水準を維持
- 事業拡大のための人件費、広告宣伝費等SGAの増加の影響で経常利益が対前期比で減少
- 製品在庫の回転率向上により当期の営業キャッシュフローが黒字化
- 特別損失の計上が大幅に減少したため当期利益は対前期比で改善

トピックス

- 「ポケットーク for BUSINESS」シリーズの発表・発売
- OpenAI社の技術を「ポケットーク」「AutoMemo」に採用
- 「AutoMemo」累計アカウント数70,000アカウント突破

前期比較 (YoY) PL比較

(単位：百万円)

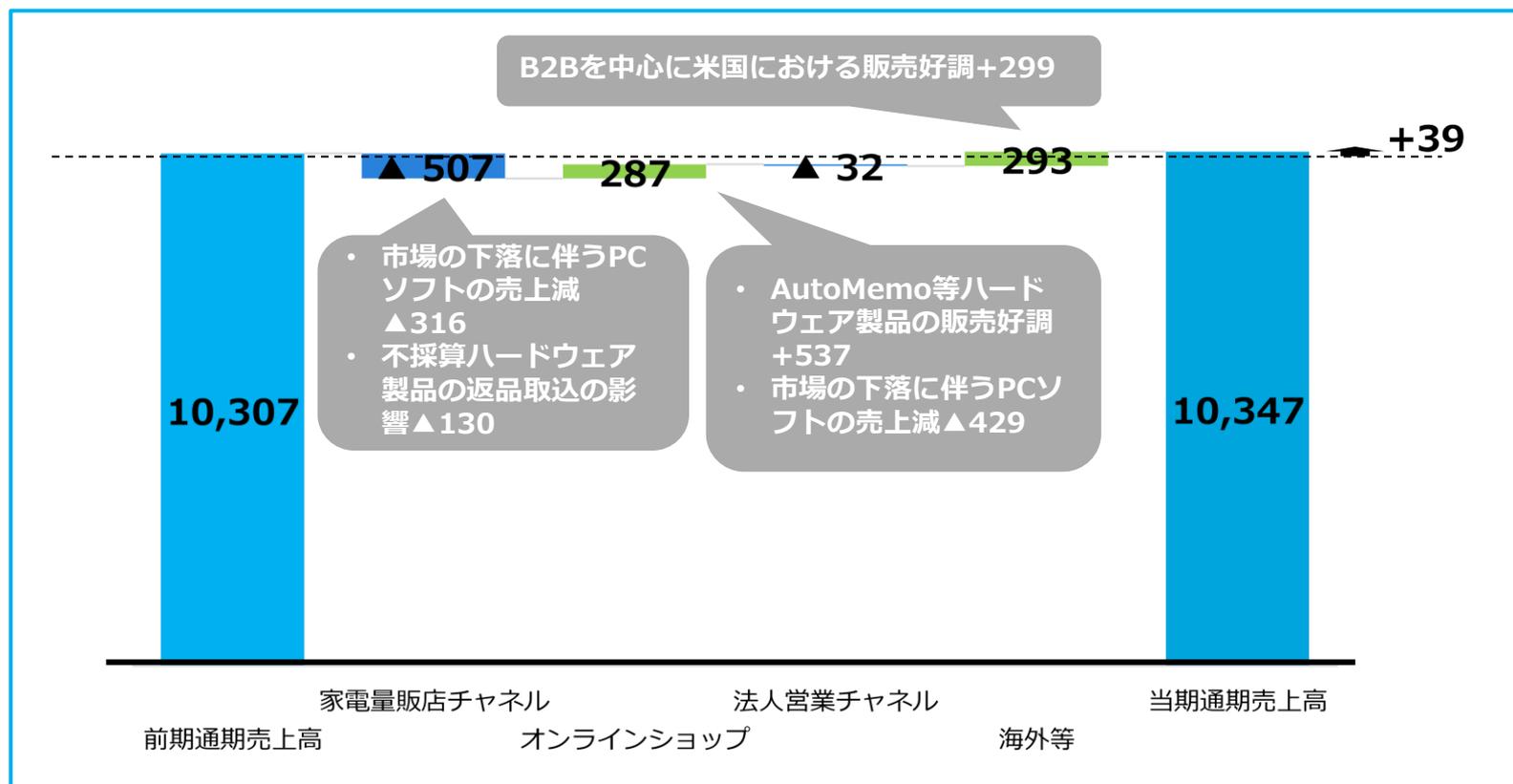
	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期	前年同期比		
			増減金額	増減率	
売上	10,307	10,347	+39	+0.4%	
営業利益	▲2,259	▲2,574	▲315	▲13.9%	
営業利益率	▲21.9%	▲24.9%	-	▲3.0pt	
経常利益	▲2,128	▲2,537	▲409	▲19.3%	
経常利益率	▲20.6%	▲24.5%	-	▲3.9pt	
当期純利益	▲3,502	▲2,303	+1,199	+34.2%	
当期純利益率	▲34.0%	▲22.3%	-	+11.7pt	

※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

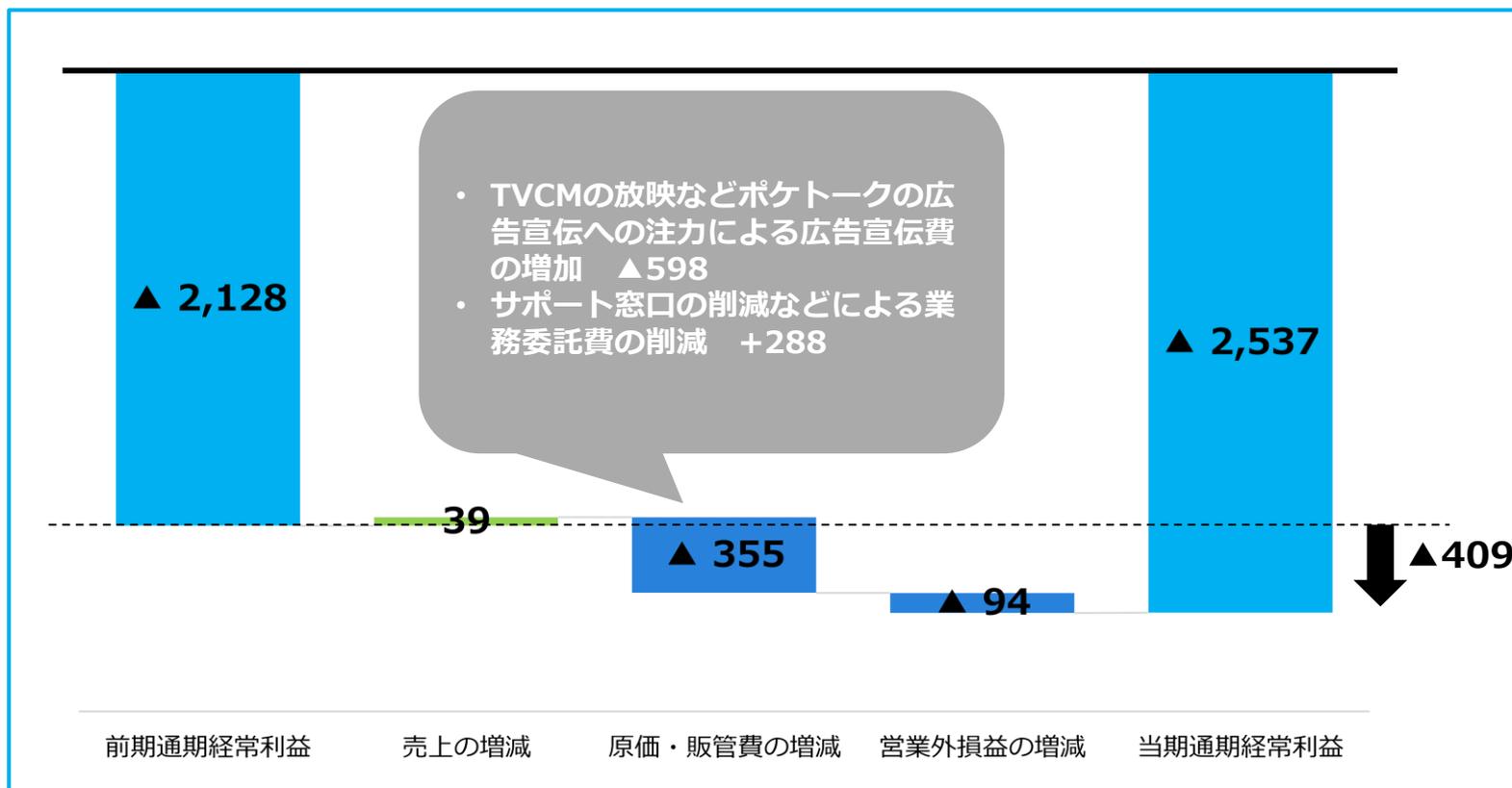
前期比較 (YoY) 売上比較ウォーターフォール (チャネル別)

(単位: 百万円)

■ 増加 ■ 減少


前期比較 (YoY) 経常利益ウォーターフォール

(単位: 百万円)

■ 増加 ■ 減少


※ 増加・減少は利益に対しての影響です。

予算比較 連結PL

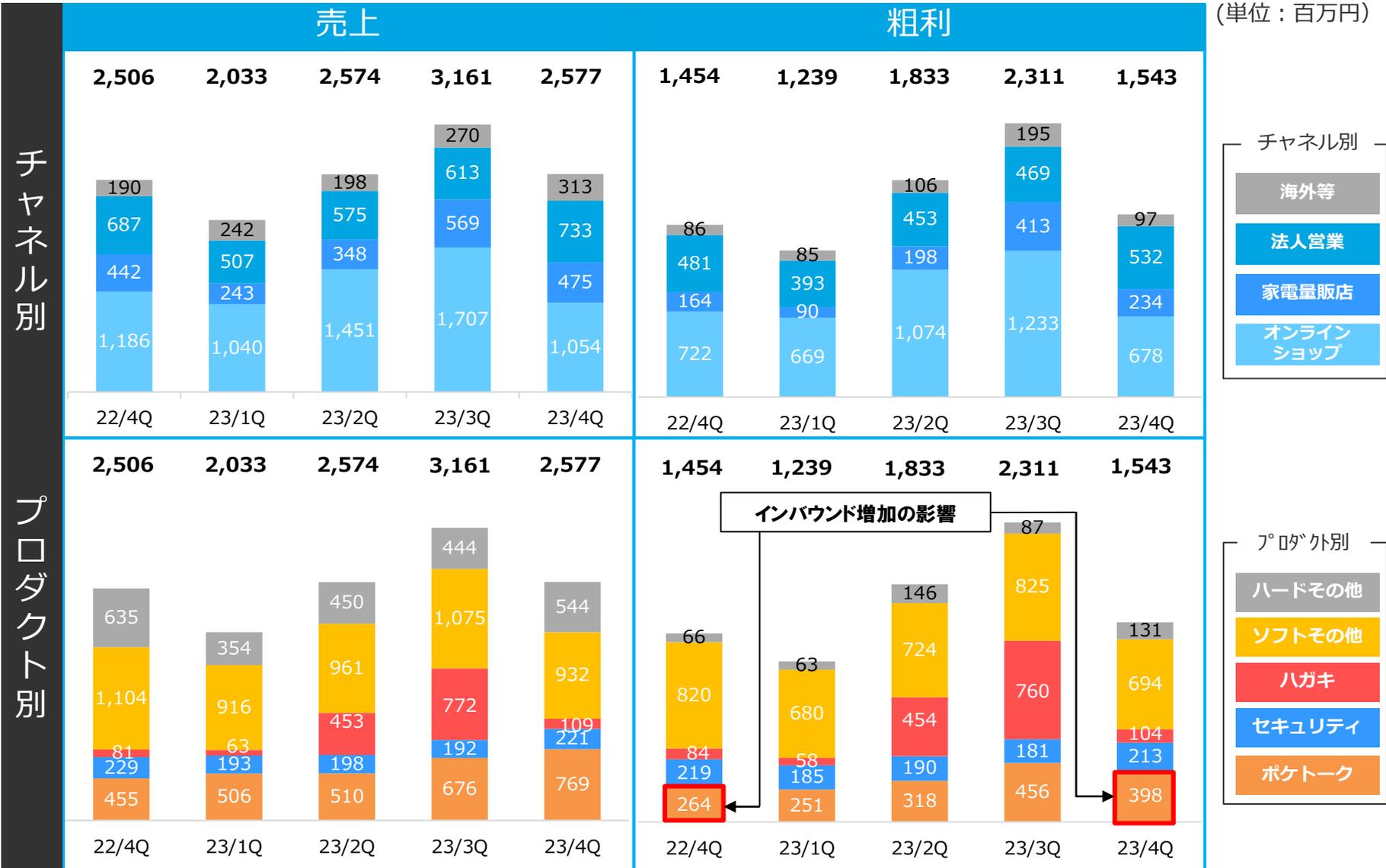
ポケットークの販売は復活傾向にあるものの、
予算策定時の想定には届かず予算比で下振れ

(単位：百万円)

	2023年3月期 2/14修正予算	2023年3月期 実績	2023年3月期 2/14修正予算比		
			増減金額	増減率	
売上	10,959	10,347	▲612	▲5.6%	
営業利益	▲2,059	▲2,574	▲515	▲25.1%	
営業利益率	▲18.8%	▲24.9%	-	▲6.1pt	
経常利益	▲2,124	▲2,537	▲413	▲19.5%	
経常利益率	▲19.4%	▲24.5%	-	▲5.1pt	
当期純利益	▲2,089	▲2,303	▲214	▲10.2%	
当期純利益率	▲19.1%	▲22.3%	-	▲3.2pt	

※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。



※ 粗利は各製品・チャンネルに直課できない開発費等の共通費を除いており、売上総利益とは一致しません。
 ※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。
 ※ 従来「家電量販店」に区分しておりました他社オンラインショップ販売を当期より「自社オンラインショップ」に追加し、名称を「オンラインショップ」に変更しております。このため、前期との比較については、変更後の数値に組み替えて比較を行なっています。

連結BS

商品及び製品の回転率向上、借入金の借り換え、
第三者割当増資を通じて、手元資金の流動性を改善

(単位：百万円)

	2022年3月末	2023年3月末	前期比	
			増減金額	増減率
流動資産	12,846	12,506	▲339	▲2.6% 
現金及び預金	5,451	6,484	+1,033	+19.0% 
商品及び製品	4,361	3,411	▲950	▲27.8% 
固定資産	7,134	7,132	▲2	▲0.0% 
総資産	19,981	19,639	▲342	▲1.7% 
流動負債	8,256	7,404	▲851	▲10.3% 
固定負債	1,765	2,331	+565	+32.0% 
純資産	9,959	9,903	▲56	▲0.6% 
自己資本比率	48.0%	47.2%	-	▲0.8pt 

連結CS

棚卸資産の適正化により営業キャッシュフローは黒字

(単位：百万円)

2023年3月期 通期	
営業活動によるキャッシュフロー	+170
税引前当期純損失	▲2,515
減価償却費	+1,116
棚卸資産の減少	+997
売掛金・前渡金の減少	+385
投資活動によるキャッシュフロー	▲999
ソフトウェアの取得	▲1,073
財務活動によるキャッシュフロー	+1,609
連結子会社の第三者割当増資	+2,291
長期借入金の返済	▲691
為替換算差額	+252
キャッシュフローの増加	+1,033

1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 業績予想

4. 補足資料

ポケトークの近況

POCKETALK.



ミッション

「言葉の壁をなくす」

観光

インバウンド・アウトバウンド

労働現場

企業・病院・学校

グローバル展開

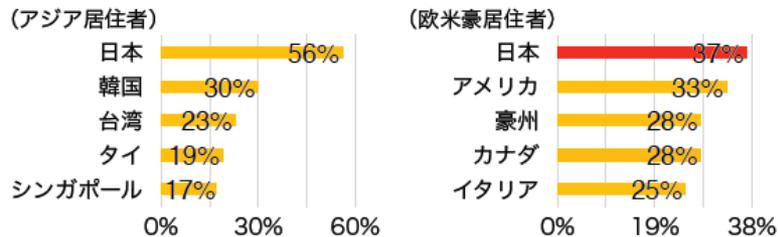
人道支援

通訳機・通訳ソフトが必要な理由（国内）

コロナ収束後のインバウンド需要の回復

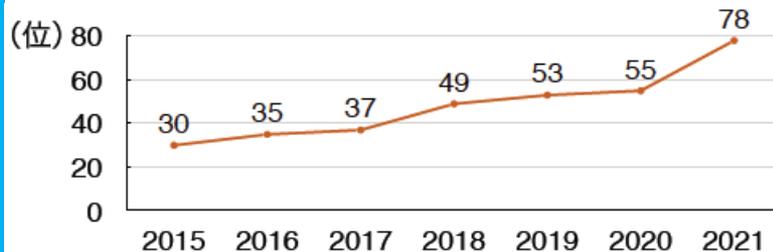
観光需要
コロナ収束後の

コロナ収束後に旅行したい国・地域(1)



英語能力の低さ
日本人の

日本の非英語圏における英語能力国際順位(2)



日本の物価・為替の状況

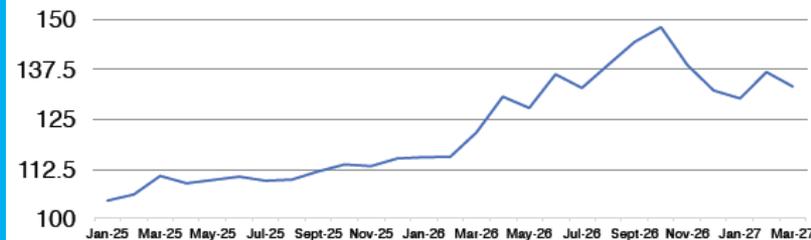
安く安定した
物価

代表的な商品・サービスの価格比較(3)

(円)	日本	アメリカ	
ビッグマック	410	697	1.70倍
ディズニー1dayパスポート	9,700	23,807	2.53倍
Amazon Prime 年会費	4,900	18,487	3.77倍

円安の急速な
進行

USドル/円の為替レート(4)



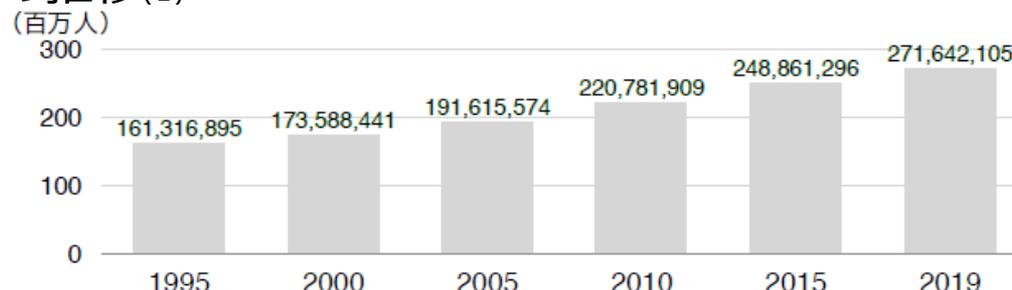
1:JTBF/DBJ 2: EF Education First 3:自社調べ (1ドル=133円換算) 4:東京市場 ドル・円 スポット 17時時点

日本の物価の安さ、円安、高い観光需要などにより、今後、訪日外国人は増え続けるので、通訳機、通訳ソフトの需要は増え続ける

通訳機・通訳ソフトが必要な理由（海外）

言語的マイノリティへの対応

国際移民数の推移⁽¹⁾



米国における非英語話者への対応事例⁽²⁾

USPS

2018年に非英語話者への対応充実を求められる調査書²が提出される

医療機関

英語習熟度が低い患者への無料の医療通訳サービス提供と、患者が通訳者を要請できる権利が法律により規定

学区・学校

米国の小中高等学校(K-12)に通うESL生徒が2000年以降100万人以上増え³、外国人親子の対応が課題

1:国際連合 2: U.S. Postal Service Customer Service for Non-English-Speaking Customers 3: Office of English Language Acquisition

国際移民の増加により、
言語的マイノリティへの対応がより重要に

通訳機・通訳ソフトが必要な理由（海外）

コロナ収束後の世界的な観光需要の回復

例) 政府の水際対策、4月29日撤廃



新型コロナの水際対策として政府は、これまで感染症法に基づいて日本への入国者に対し、3回のワクチン接種の証明書や、出国前72時間以内に受けた検査の陰性証明書の提出を求めてきましたが、4月29日から不要になりました。

また、新型コロナの感染症法上の位置づけについて、5月8日より季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行しました。

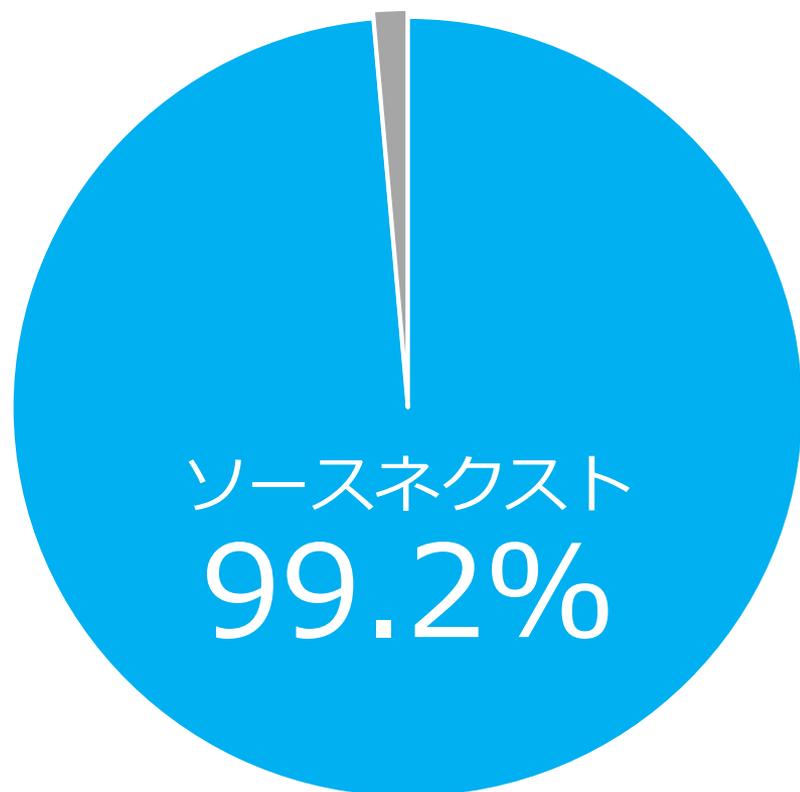
例) 入国規制撤廃のタイ 外国人客、来年にも全面回復



新型コロナウイルス対策の入国規制を5月にほぼ撤廃したタイのユタサック政府観光庁総裁は8日、南部プーケットで記者会見し、700万~1000万人の外国人観光客を受け入れるという今年の目標は「容易に達成できる」と自信を示した。また、来年には外国人客を感染拡大前の状況に「全面回復させたい」と期待感を表明した。

各国で外国人観光客受入の動きを推進、
世界中で言語の壁が喫緊の課題に

2023年3月「翻訳機」販売金額シェア



64ヶ月連続販売金額シェア

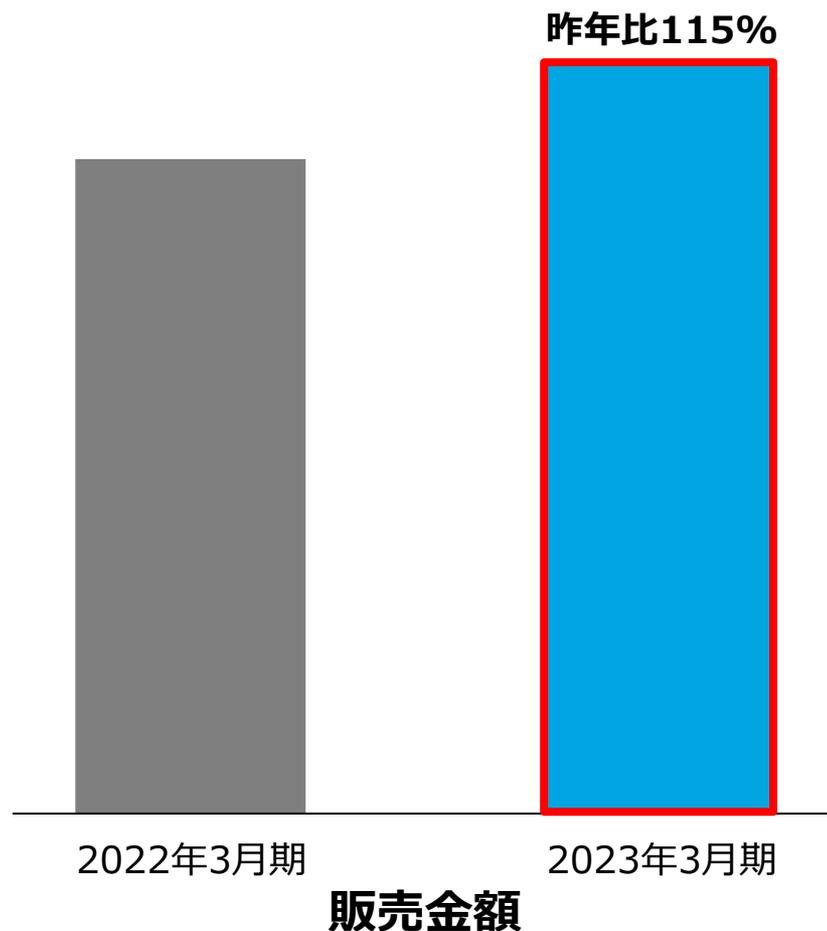
第1位

**22年12月
100万台突破**

出典：「電子手帳・辞書」から「翻訳機」を抽出、
第三者機関による全国の有力家電量販店の販売実績をもとに自社集計

米国での販売実績

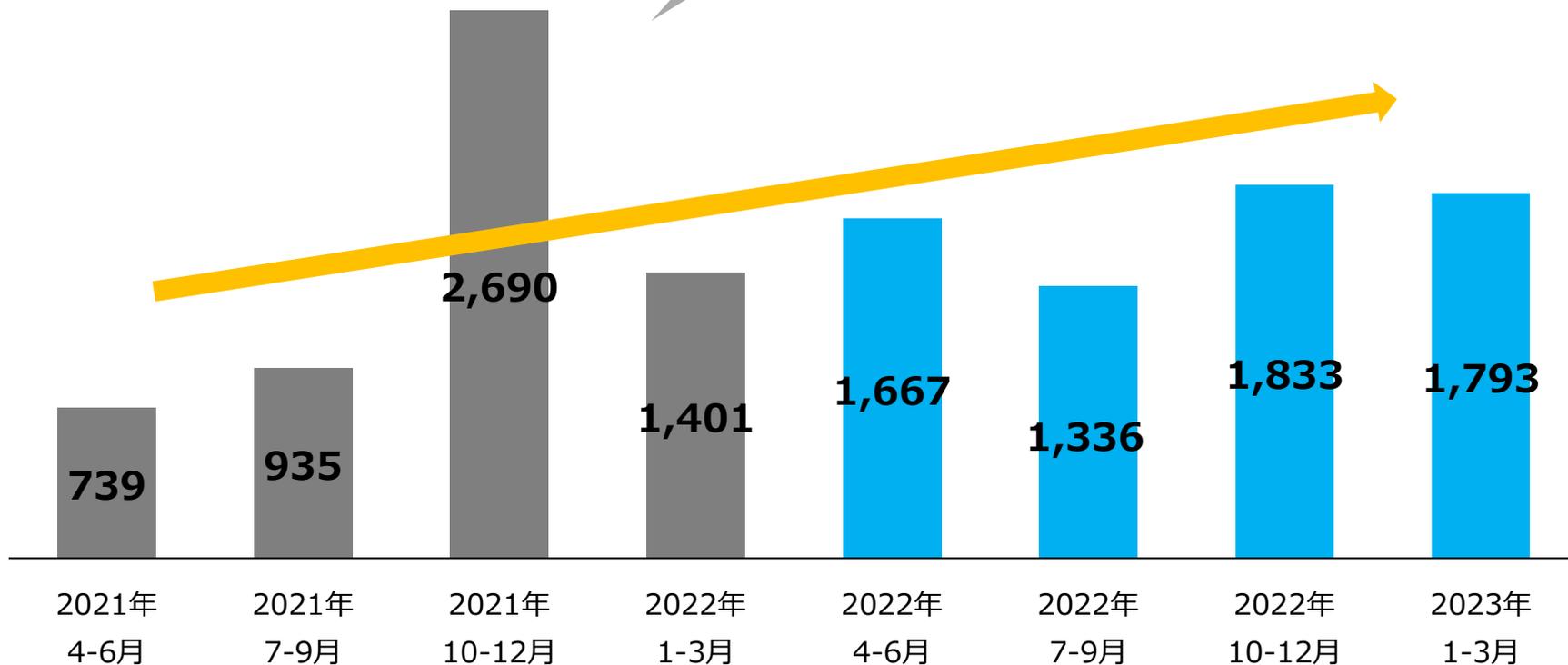
ポケットークの認知度向上により、
EC、B2Bともに実力値で前期比増



米国でのポケットーク売上高

(単位：千USD)

10月、11月にB2Bで大型受注があった影響で前期3Qの売上高が大きくなっている



2023年3月14日
法人向けのビジネスシリーズ
「ポケットーク for BUSINESS」の
「同時通訳」を発表・販売開始

ポケットーク for BUSINESS

NEW

同時通訳

NEW

カンファレンス

NEW

ムービー翻訳ポケットーク
(端末)コンソール
(管理ツール)

ポケット for BUSINESS 同時通訳

オンライン会議



音声も出るで!

ポケット for BUSINESS 同時通訳



対面会議



対面会議も通訳!

ポケット for BUSINESS 同時通訳



自動文字起こし



議事録に使える!

ポケット for BUSINESS 同時通訳



動画視聴



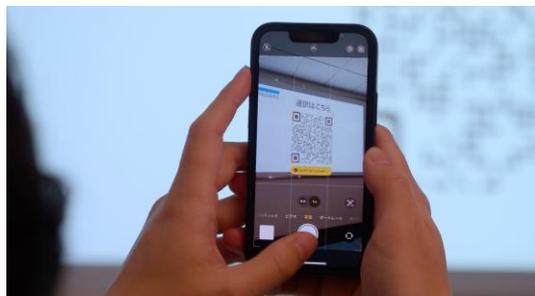
動画の翻訳にも!

ポケット for BUSINESS 同時通訳



ポケットワーク for BUSINESS カンファレンス

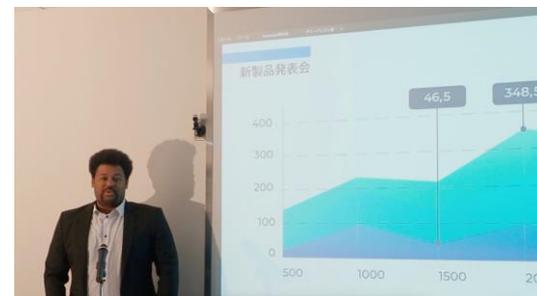
QRコード読み取り



ブラウザを開く



外国語でのプレゼン



音声翻訳



テキスト翻訳

ポケットーク for BUSINESS ムービー翻訳

簡単

速い

高い翻訳精度



かかるコスト (例)	4万円程度/1時間	合計で 最低200万円/回 一般的な価格 (8時間/1,000人のサミット開催時)	最低90万円/30分 価格相場 ・字幕追加のみ：5,000～10,000円/分 ・ボイスオーバー：25,000円/分～
事前準備	打ち合わせ必須	打ち合わせ必須	納品までにかかる 打ち合わせが必要 (見積もり・納期など)

ポケット-7 for
BUSINESS **同時通訳**

ポケット-7 for
BUSINESS **カンファレンス**

ポケット-7 for
BUSINESS **ムービー翻訳**

かかるコスト	月額 2,200 円 毎月30分まで無料	1/20 以下	1/30 以下
事前準備	不要 (ソフトのダウンロードのみ)	不要	不要 (動画をアップロードするのみ)

「ポケットーク for BUSINESS」に
OpenAI社の音声認識モデル
「Whisper」を採用

**ポケットーク for
BUSINESS**



J-Startupとのパートナーシップを発表

POCKETALK®



J-Startup

POCKETALK®

「言葉の壁」をなくし、
日本企業のグローバル化を加速し、
国策もサポート

企業の
競争力

都市の
競争力

日本の国際的な
競争力向上にも貢献する、
社会インフラを目指す

ポケットワーク for BUSINESS

翻訳・通訳にかかわる
コストを劇的に下げる

ビジネス市場の拡大

あらゆる産業における
グローバル化の促進
翻訳・通訳市場の拡大

2027年までに
200億円規模

AutoMemoの近況



文字起こしAIボイスレコーダー「AutoMemo S」

■ 販売実績の上昇

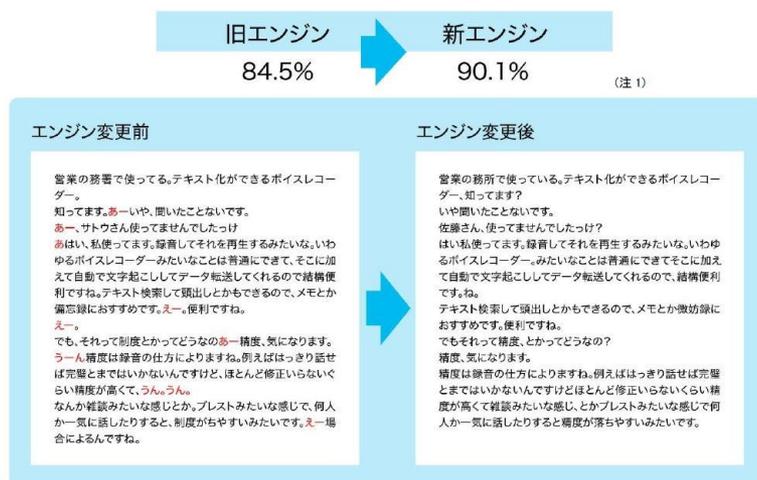
AutoMemoシリーズの販売が好調に推移し、売上高は前期比222%

■ サブスク型テキスト化サービスの拡大

- ・ ユーザー数は急速に増加し2023年4月時点で累計アカウント数70,000を突破
- サブスク型テキスト化サービスの加入数も順調に増加

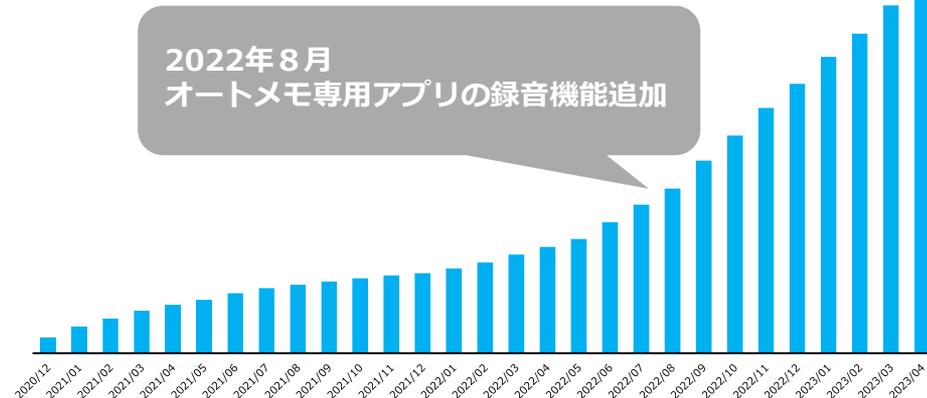
■ 音声認識精度の向上

OpenAI社の音声認識モデル「Whisper」を採用し音声認識精度が向上



注1: 2人または4人の音声端末から1m地点で65dBになるように流して録音し、さらに3m地点で録音しテキスト化した平均値。
(すべてソースネクスト調べ/2023年3月、文字起こしの精度は話し方や環境により大きく変わります。)

累計アカウント数



1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 業績予想

4. 補足資料

2024年3月期の通期連結業績予想は以下の通りです。

(単位：百万円)

	2024年3月期 通期		2023年3月期 通期	増減
	連結	SN単体	連結	連結
売上	16,649	14,139	10,347	+5,689
営業利益	110	580	▲2,574	+2,169
経常利益	106	464	▲2,537	+2,231
当期純利益	63	334	▲2,303	+2,366
EPS(円)	0.47		▲17.00	+17.47
年間配当金(円)	-		-	-

- ※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益（ソースネクスト社及びポケットーク社については「当期純利益」）
- ※ EPS：1株あたり当期純利益
- ※ ソースネクスト社の数字は連結会社間の内部取引等を消去した後の金額です。
- ※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

予算の前提

1

**インバウンド/アウトバウンド回復による
ポケットーク端末の販売増**

2

新たな機能を開発し魅力的な商品を提供

3

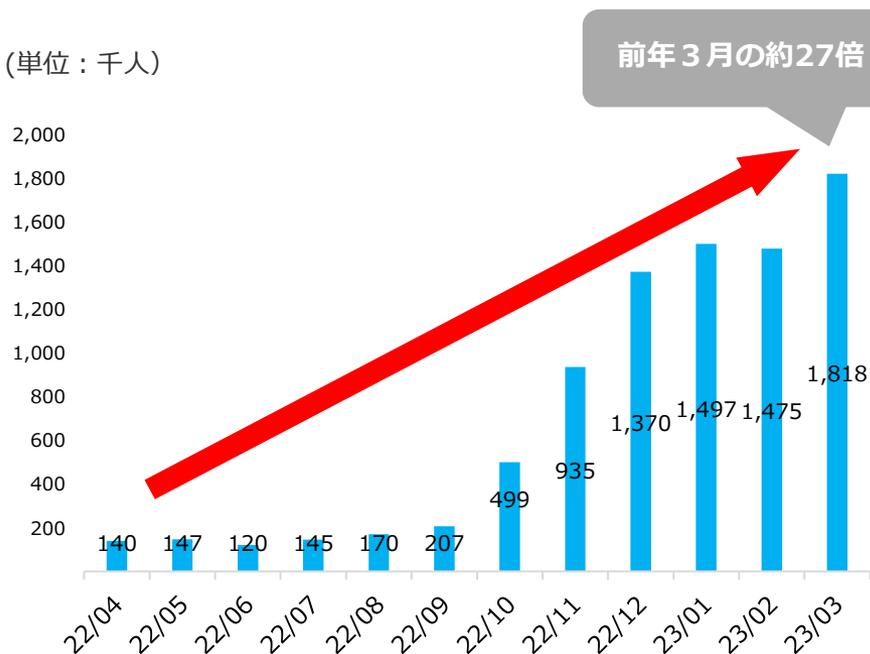
サブスクリプションによる安定的な収益の基盤

インバウンド/アウトバウンドともに回復傾向

中国以外からの訪日外客数は、
新型コロナウイルス前の2019年比で84.2%まで回復
(2023年3月時点)

2023年3月期
訪日外客数の推移

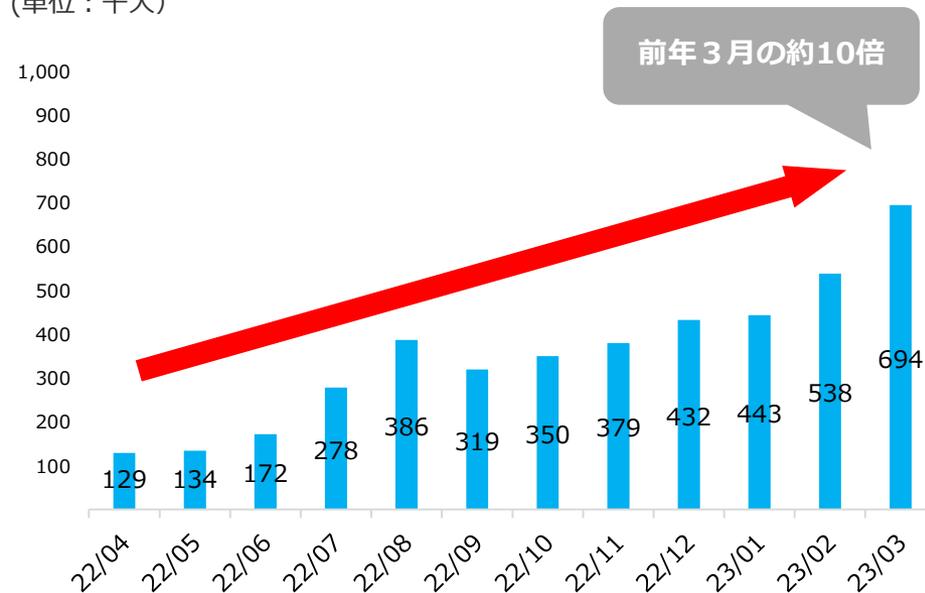
(単位：千人)



出典：日本政府観光局調べをもとに当社作成

2023年3月期
出国日本人数の推移

(単位：千人)



中国政府の ゼロコロナ政策転換

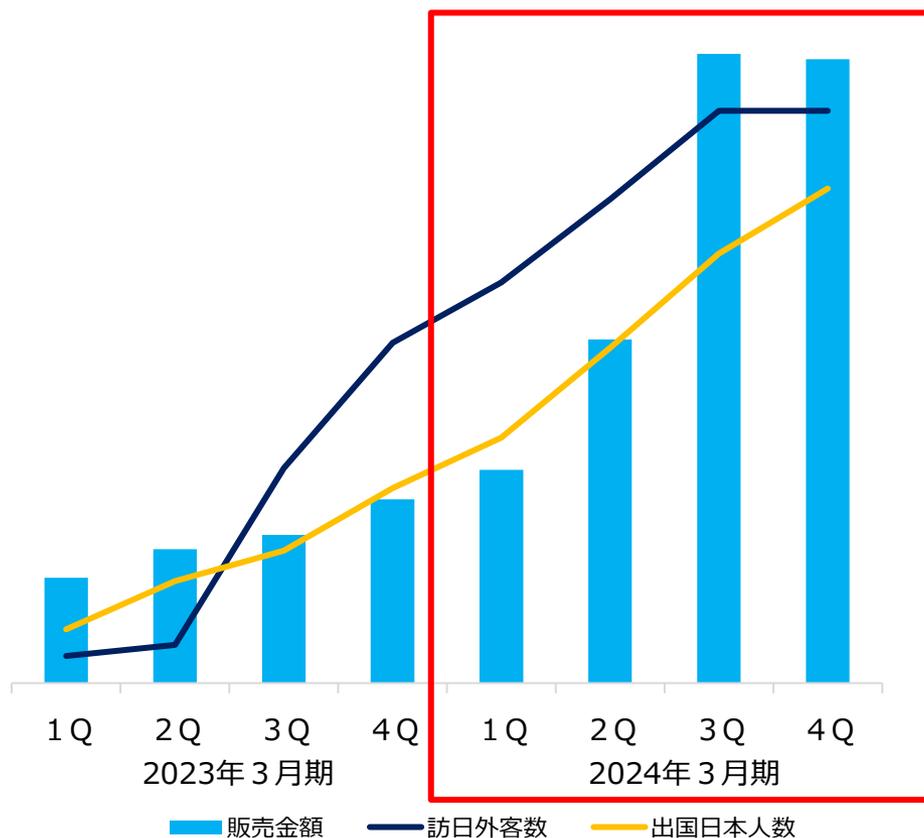
**2023年4月29日
水際対策の撤廃**

**2023年5月8日
新型コロナウイルスの
感染症法上の分類を
「5類」に引き下げ**

中国含むインバウンド/アウトバウンド需要の
コロナ前の水準への復活が見込まれる

インバウンド/アウトバウンドの復活に伴い、 ポケットークの販売も増加の見込み

インバウンド/アウトバウンドの復活(見込)と
ポケットークの売上高(見込)



2024年3月期
ポケットーク売上高の復活見込

	2019年比
合計	92.4%
国内	79.3%
海外	561.3%

予算の前提

1

インバウンド/アウトバウンド回復による
ポケットーク端末の販売増

2

新たな機能を開発し魅力的な商品の提供

3

サブスクリプションによる安定的な収益の基盤

文字起こしAI 「AutoMemo(オートメモ)」シリーズ

従来の端末、アプリに加え、新webアプリ
「AutoMemo Home(オートメモ ホーム)」を2023年夏 公開予定

サブスクリプション型の文字起こしサービスを更に強化し、
安定的な収益基盤の形成を狙う

AutoMemo  ラインナップ



AutoMemo App (iOS/Androidアプリ) AutoMemo S (文字起こしAIボイスレコーダー) **NEW!** AutoMemo Home (ウェブアプリ)

ブランド別
累計販売台数・金額シェア **No.1**

※2022年1月～12月全国の有力家電量販店販売実績のボイスレコーダーカテゴリから
自動で文字起こしができる機能を備えた製品を対象に自社集計



予算の前提

1

インバウンド/アウトバウンド回復による
ポケットーク端末の販売増

2

新たな機能を開発し魅力的な商品の提供

3

サブスクリプションによる安定的な収益の基盤

サブスクリプション（自動継続版）サービス

- 当社におけるサブスクリプション（自動継続版）サービス
初回購入時の通常版から、アップデート時の自動継続版を提供
- 主力製品の安定的な収益基盤化
筆まめなどのソフトウェア、スマホアプリなどでもラインアップ拡大

おすすめ



自動継続版
(ダウンロード版)
3,280円
e 32ポイント

カートに入れる

事前に、自動継続版の詳細をご確認下さい

自動継続版なら

ずっとお得

1,980円



来年からは1,980円で
最新版を使えます

自動でラクラク



最新版が発売されたら
自動でバージョンアップ

もっと詳しく
(ソースネクスト・サイトを開きます)

ソフトウェア



スマホアプリ



サブスクリプション割合の伸長

サブスクリプションの割合を増加させることで、
中長期の継続的な収益獲得とともに、利益率の向上を目指す

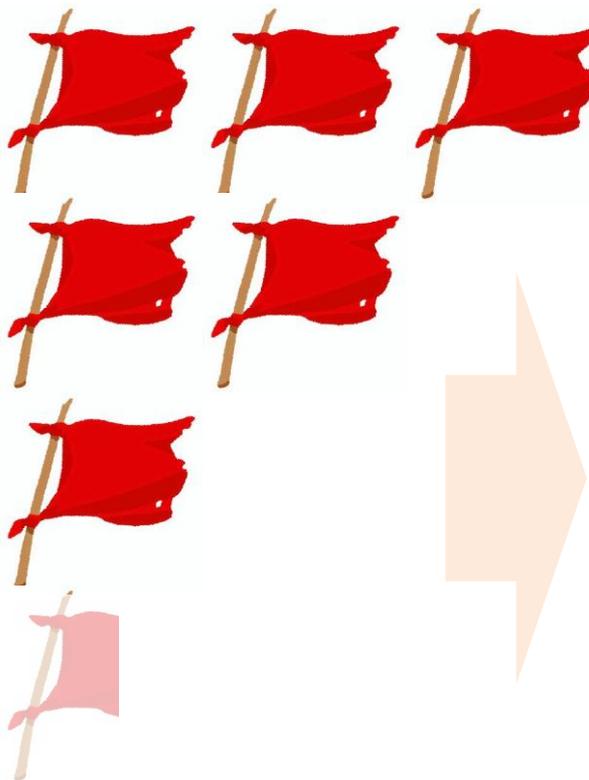
売上高のうちサブスクリプション割合

スマート留守電

はがき作成ソフト
いきなりPDF

ポケットク
AutoMemo

その他



次の常識をつくる

We Source What's Next.

1. ハイライト

2. 事業の近況

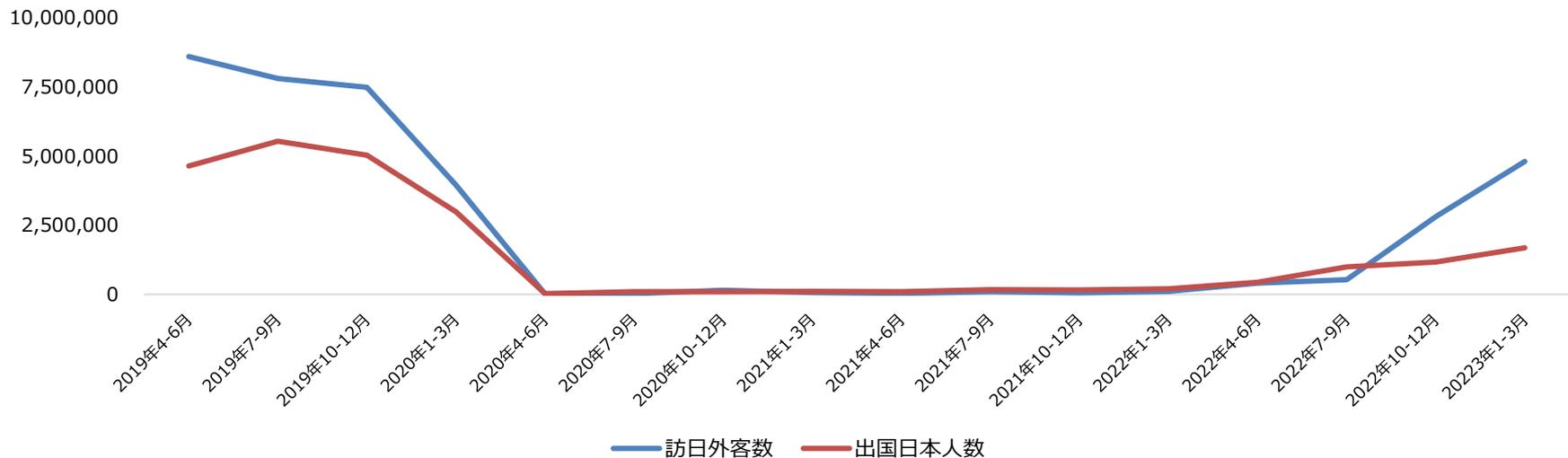
3. 業績予想

4. 補足資料

出入国者数

(単位：人)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪日外客数	2017年	2,295,668	2,035,771	2,205,664	2,578,970	2,294,717	2,346,442	2,681,518	2,477,428	2,280,406	2,595,148	2,378,079	2,521,262
	2018年	2,501,409	2,509,297	2,607,956	2,900,718	2,675,052	2,704,631	2,832,040	2,578,021	2,159,595	2,640,610	2,450,751	2,631,776
	2019年	2,689,339	2,604,322	2,760,136	2,926,685	2,773,091	2,880,041	2,991,189	2,520,134	2,272,883	2,496,568	2,441,274	2,526,387
	2020年	2,661,022	1,085,147	193,658	2,917	1,663	2,565	3,782	8,658	13,684	27,386	56,673	58,673
	2021年	46,522	7,355	12,276	10,853	10,035	9,251	51,055	25,916	17,720	22,113	20,682	12,084
	2022年	17,766	16,719	66,121	139,548	147,046	120,430	144,578	169,902	206,641	498,646	934,599	1,370,000
	2023年	1,497,472	1,475,300	1,817,500									

(単位：人)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出国日本人数	2017年	1,295,059	1,493,399	1,745,412	1,234,921	1,317,742	1,336,169	1,480,718	1,888,071	1,622,694	1,459,083	1,546,985	1,469,039
	2018年	1,423,727	1,390,518	1,807,063	1,356,679	1,383,847	1,421,649	1,557,980	2,033,435	1,630,088	1,646,230	1,673,473	1,629,345
	2019年	1,452,157	1,534,792	1,929,915	1,666,546	1,437,929	1,520,993	1,659,166	2,109,568	1,751,477	1,663,474	1,642,333	1,712,319
	2020年	1,380,762	1,316,820	272,697	3,915	5,539	10,663	20,295	37,137	31,606	31,049	30,703	33,033
	2021年	48,691	24,807	28,896	35,905	30,121	30,666	43,184	66,051	52,366	50,841	51,774	48,942
	2022年	74,982	46,932	70,678	129,168	134,013	171,529	277,945	386,412	319,165	349,557	379,196	432,057
	2023年	443,105	537,705	694,300									



四半期比較 (QoQ) 連結PL

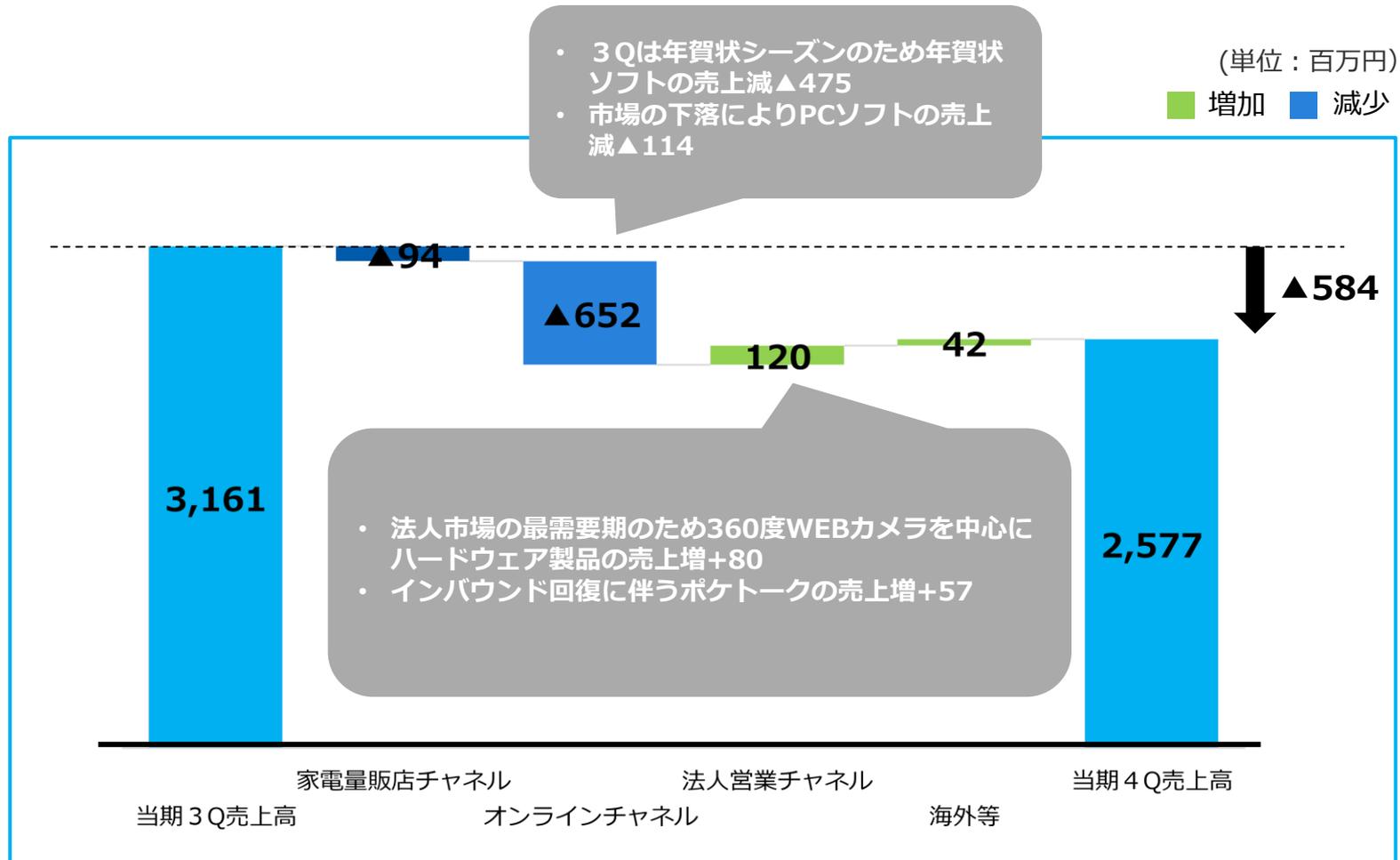
(単位：百万円)

	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q	2023年3月期 3Q比		
			増減金額	増減率	
売上	3,161	2,577	▲583	▲18.5%	
営業利益	▲111	▲1,158	▲1,046	▲935.1%	
営業利益率	▲3.5%	▲44.9%	-	▲41.4pt	
経常利益	▲294	▲1,122	▲828	▲281.9%	
経常利益率	▲9.3%	▲43.6%	-	▲34.3pt	
四半期純利益	▲269	▲974	▲705	▲262.0%	
四半期純利益率	▲8.5%	▲37.8%	-	▲29.3pt	

※ 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

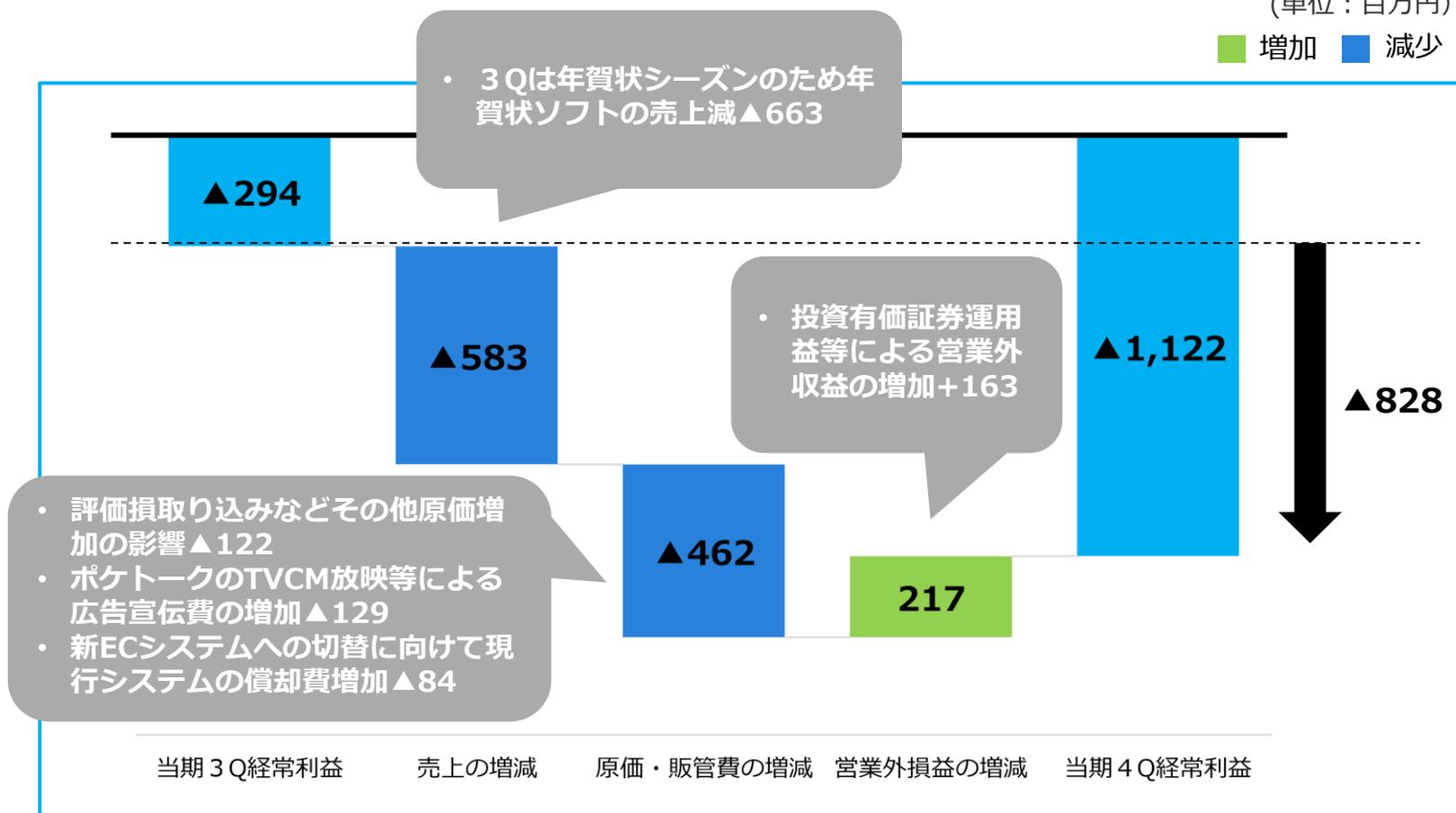
四半期比較（QoQ）売上ウォーターフォール（チャンネル別）



四半期比較（QoQ） 経常利益ウォーターフォール

(単位：百万円)

■ 増加 ■ 減少



※ 増加・減少は利益に対しての影響です。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご了承ください。